

電子機器用・通信機器用部品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	工場敷地内の駐車場から従業員玄関へ徒歩で移動しているとき、雪道で右足が滑り、左足で支えようとしたところ左足も滑り、足先が外に向いてそのまま転倒した。大型の除雪車（ブルドーザー）で除雪した雪道が、所々滑りやすくなっていた。	41	50~99
1	8~9	構内駐車場に車を止めて、従業員玄関前を歩行中に、凍った路面に足を滑らせ転倒し、臀部を強打し、骨盤を骨折した。	58	100~299
1	5~6	第三駐車場横歩道にて退社するため、第二駐車場に駐車した自車に向かって歩行していたところ、底面がフラットなブーツを履き、両手に荷物を持った状態で凍結したアスファルト上を歩行中、左足を地面についた際に滑って前方へ蹴り出すような形になり、荷物を持っていたため受け身が取れず、お尻から転倒し、地面に強く打ちつけ、尾てい骨を骨折した。	47	100~299
1	20~21	駐車場の側溝に足を取られて右手をついたところ、右手首を骨折した。	53	100~299
1	9~10	前日からの雪がまだ残っており、出勤時、工場内の従業員入口側が影になっていて地面が凍結していて注意しながら歩いていたが、凍結した地面で足を滑らせ転倒し、右手を突っ張り、右手首を骨折してしまった。	55	100~299
2	5~6	入社時、会社駐車場内を玄関に移動中、凍結路面で足をとられ、尻もちをつき仰向けの状態で後頭部を強打する形で転倒した。	52	30~49
		派遣会社送迎バスにて入社時、送迎バスにて入社時に、バス降車後数歩歩いた		500

2	20~21	後、ふらつく様に転倒した。その際、駐車場アスファルトにて顔面を打ち付け負傷した。被災者には持病（糖尿病）があり過去にも低血糖状態となり、何度かふらつきを発症している。	49	～ 999
3	15~16	旧工場から新工場へ走りながら移動している際、通路の段差につまずき転倒し、手をついた時の衝撃と肩を地面にぶつけたことで負傷した。	46	—
3	12~13	被災者は、派遣先にて子基盤のハンダ付け業務に就いていた。クリーンルーム内で会社指定の静電靴をはいて作業していた際、静電靴をはいて廊下を歩いていたとき、靴の底が滑りにくいため床の摩擦で引っかかり転倒しそうになった。とっさに壁に左手をついて転倒を防ごうとしたが、勢いが強かったためそのまま左肩を脱臼した。	43	～ 299
4	13~ 14	台車を操作していた他の従業員が、引き戸の前で停止していた。後から来た本人が、この戸を代わりに開けてあげようと前に回り込もうとした際、誤って台車を操作していた従業員の足に本人の足が引っかかってしまい、勢いよく転倒し支えようとした右手を床に強くつき負傷した。	53	～ 299
7	9~10	レーザー作業中、作業台に置いてあるレーザーの加工材料に引っかかり、転倒してしまい右膝を負傷。	45	1~9
7	13~ 14	部材置場の表示板位置を直し終えて部材が置いてある場所から移動しようとした時、パレットに足が引っかかり転んで床に手をついたら右肩を脱臼骨折した。	50	～ 999
7	8~9	更衣室（2階）から作業場（1階）に向かう階段を降りている際に、最後の一段を踏み外し、右足甲を捻り捻挫した。	34	～ 299
7	11~ 12	工場内道路を自転車で走行中、道路を横断するグレーチングに幅35mmの隙間があり、自転車の前輪が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。そのときに右足首を捻って倒れ、右足首を骨折した。被災者は、ヘルメット・安全靴を着用していた。	28	～ 499
		当社作業場内において、パワーリフトを移動させようと引っ張ったときに、後ろ		

9	14～ 15	に置いてあった箱に足が当たり、後ろに転倒し尻餅をついたときに負傷した。しばらくすれば痛みが引くだろうと自宅静養していたが、なかなか痛みが引かないため受診した。	58	30～ 49
9	17～ 18	AC棟1Fの部材置場にて部材整理を行っていた、段ボール3箱（3段積み）の移動・積み替え作業で最下段にあった段ボールを移動させようとした際に、部材を置いていたコンテナに左足つま先が引っ掛かり、部材を持ったまま体勢を崩して左膝を床に打ち付け、左大腿部を骨折した。	33	300 ～ 499
10	11～ 12	2階作業場において、ゲーム用ソフトのシール貼り、製品の補充が終わり、次にキャラメル包装を行うため、キャラメル包装工程に向かって移動しようとしたが、足元近くに置いてあったパレットに蹴躓いて、転倒し左足のすねを骨折した。	57	50～ 99
11	3～4	工場内で、スモッグルーム出入口下駄箱で靴に履き替えていた。靴を履ききっていないにもかかわらず、脇見をして、左足を踏み出し右足を踏み出した時、バランスを崩して転倒し負傷した。	61	100 ～ 299
11	16～ 17	半導体製造工程において、作業終了後、建屋1F出入口より退出しようとしたところ、玄関滑り止めマットに躓き前のめりになり転倒し、1F出入口下り階段の角に右膝を強打し負傷した。	53	500 ～ 999
12	21～22	会社敷地内の駐車場で帰宅途中に、路面が凍結しており足を滑らせ転倒し左上腕を骨折した。	41	—
12	11～12	当社工場内にて高所清掃中、バランスを崩し脚立中段より落下し、腰を打撲した。	78	1～9
12	8～9	オフィス内にて、朝のラジオ体操を行っていた際、周囲の人と手が当たりそうになったため、体操をしながら横に移動した際、椅子の脚に引っ掛け転倒し、受傷した。	56	1000 ～ 9999
12	17～18	駐在している工場に隣接する駐車場で、駐車していた自身の車両後方から運転席側に歩いている際、照明は届いていたが、足元は車両または自身の影が影響して車止めに気がつかず、躓いて転倒した。	45	500 ～ 999

12	11~12	事業所建屋外の洗濯機置き場で手袋等の洗濯中、足元の散水用ホースのたわみに足が引っかかり、前のめりに転倒した。その際、咄嗟に右手で体をかばったが、右手小指を強打し骨折した。	66 50~ 99
----	-------	---	-----------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html